

日本史籍講読8－Ⅳ

科目ナンバリング JPH-416
選択必修 2単位

高杉 洋平

1. 授業の概要(ねらい)

日本近代史の史料を輪読し、基礎的な史料読解能力を習得します。史料の読解能力は史学科の学生として最低限必要な能力です。近現代史の史料は、難しい崩し字や、現代ではあまり使われない文章表現、漢字などが頻出します。最初は面食らうかもしれませんが、すぐに慣れます。これらに慣れ親しむことが目標です。必ず読めるようになります。読む史料の具体的な内容は、履修学生の関心を考慮して決めていきますが、できるだけ様々な史料に挑戦したいと思います。

2. 授業の到達目標

- ①学生は、史料に書かれた内容を的確に理解できます。
- ②学生は、史料の歴史的・政治的意味について理解できます。
- ③学生は、史料を基に学問的議論を展開できます。

3. 成績評価の方法および基準

平常点100%

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません。

参考文献

授業時に適時提示します。

5. 準備学修の内容

事前に史料を読み、分からない語句などはできるだけ調べて授業に臨んでください。

6. その他履修上の注意事項

史料は配布します。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第3回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第4回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第5回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第6回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第7回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第8回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第9回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第10回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第11回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第12回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第13回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第14回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説
- 【第15回】 昭和期の史料を読む
輪読・解説